

# 翻訳代行サービスのご案内

海外向けの書類作成に利用してください！

- ◆ 取扱説明書
- ◆ カタログ
- ◆ 海外の官公庁への提出書類
- ◆ 報告書 など



弊社の協力会社が高品質な翻訳サービスを提供します



- ・ 英語以外にも翻訳可能
- ・ Word での入稿の他に、紙媒体からの翻訳も可能
- ・ カタログなどの場合、デザインや印刷までワンストップ
- ・ 外国語に切り替えられるホームページの作成も可能
- ・ ネイティブチェックも可能

### お客様の声

中国の官庁への提出書類を格安翻訳サービス会社に頼みましたが書類を差し戻されてしまいました。

宏和さんで再作成してもらったところ問題なく受理され助かりました。



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状  
 冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史  
 電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート  
 CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成  
 コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作  
 その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

コウワ/ワ

9

Vol.84

発行者：株式会社宏和  
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

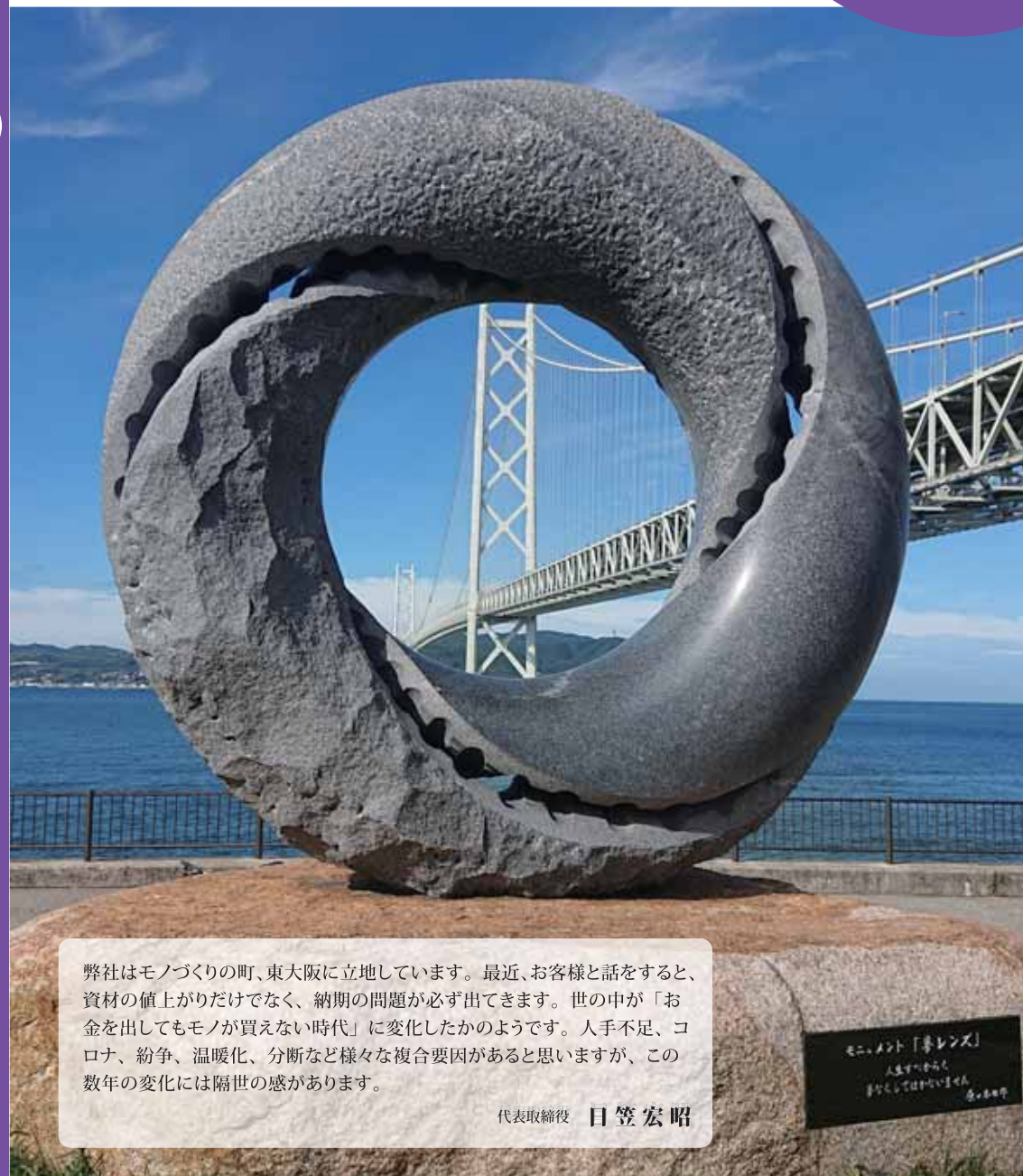
# コウワ/ワ

## MONTHLY NEWS LETTER Vol.84

2022

9

September



弊社はモノづくりの町、東大阪に立地しています。最近、お客様と話をすると、資材の値上がりだけでなく、納期の問題が必ず出てきます。世の中が「お金を出してもモノが買えない時代」に変化したかのようです。人手不足、コロナ、紛争、温暖化、分断など様々な複合要因があると思いますが、この数年の変化には隔世の感があります。

代表取締役 日笠宏昭

モニュメント「夢レンズ」  
人生で何回か  
夢をみるにはいい場所  
2011年4月

今更ですが・・・

## PPAP 問題の解決策は？

皆様はメールで添付ファイルを送る際にどのようにしておられますか？会社によって様々なルールがあると思いますが、絶対正解！というものがあるわけでもなく、結構気を使う問題です。



2020年11月24日、当時の平井卓也デジタル改革担当相は会見で、メールでパスワード付きファイルを送り、パスワードを別送する方法（いわゆるPPAP）について、26日から内閣府、内閣官房で廃止すると発表しました。今後、外部へのファイル送信には外部ストレージサービスを活用し、他省庁の状況についても実態調査を進める、とのことでした。では、その後他省庁はどうなっているのか、というと、続報を探してみてもあまり情報がありません。

### PPAPのおさらい

PPAPとは、いわゆるパスワード付きzipファイルを使ったファイル共有手段のことです。「PPAP」という用語は、それぞれ以下の頭文字を表しています。

P：Password 付き zip 暗号化ファイルを送付

P：Password を送付

A：A ん号化（暗号化）

P：Protocol（プロトコル：コンピューター同士の通信をする際の手順や規格）

### PPAPの問題点

#### ・情報漏洩のリスク

物理的にファイルを送付しているメールと同じルートでパスワードも送付されるのでメールの盗聴により解除されてしまうリスクがあります。複雑なパスワードを設定しても、同じ通信経路で送受信されると意味がないわけです。

#### ・マルウェア問題

通常のセキュリティソフトではパスワード付zipファイルはウイルスチェックできないため、その結果、zipファイルを解凍したパソコンがマルウェアに感染する危険性があります。

#### ・手間の問題

何度もパスワードを入力したり、パスワードを探したり、送る側も受ける側も手間がかかります。また、スマートフォンからの確認にも大変な手間がかかります。

## 無料のファイル転送サービスについて

2019年1月、大阪ガス子会社のオーグス総研が運営する大容量ファイル送信サービス「宅ふぁいる便」で大規模な個人情報漏洩事故が発生し、2020年3月にはサービス終了に追い込まれました。現在でも、firestorage、ギガファイル便、データ便などの無料サービスがあり、印刷用データの入稿などに使われています。無料サービスでできるセキュリティ対策には限界もあることを認識した上で、送るデータの重要性やセキュリティ度合いも考慮し使用することが大切です。もちろん、受ける側がそれに対応可能かも確認する必要があります。



### 脱PPAPの手段

PPAPの代替案で有力なものがクラウドストレージの活用です。クラウドストレージは、企業のビジネス利用を前提に運用されているサービスが多く、セキュリティ面や操作性にも配慮されています。機能の一例としては、アクセス権限などを制御できたり、クラウド上でファイルを共同編集できたりと、セキュリティと利便性を兼ね備えていることが挙げられます。また、ファイルの自動バックアップなども備えており、PPAPよりもセキュアにファイル共有ができることが特徴です。ビジネス用のクラウドストレージサービスは多数存在するため、自社の用途やコストに合わせて検討することが大切です。

しかしながら、企業によっては認められたもの以外の外部ストレージへのアクセスが禁止されている場合があります。そのような場合には、こちらが指定するクラウドストレージは使えません。相手先の意向を確認した上で対応する必要があります。

また、中小零細企業では、手間やその他の観点から、ファイルをそのまま送ってほしい、との依頼を受けることもあります。個人情報は論外ですが、結局は、送る書類が機密文書なのか、を理解することも非常に重要です。相手先の状況を確認しながら進めていかざるを得ない、というのが現在の状況です。

参考：PPAPは禁止すべき？（NTT東日本web site）